

一般外科・肛門外科・小児外科専攻医カリキュラム

1. 目標

臨床外科医としての修練を積むとともに、日本外科学会の外科専門医取得のための業績を重ねる。

2. 研修スケジュール

年度	
1年度	特定の分野に特化せず、がんのような専門性を必要とする疾患から、急性虫垂炎や胆石、ヘルニアのような日常的疾患、外傷のような緊急手術まで、地域医療に必要なあらゆる外科的疾患を研修する。経験する手術の目安は、急性虫垂炎、鼠径ヘルニア、局麻手術、結腸切除、乳癌等である。
2年度	同上。経験する手術の目安は、胆嚢摘出術、胃切除、直腸切除等である
3年度	同上。経験する手術の目安は、胃全摘、直腸切断、肝切除、膵切除等である。
終了後の予定	当院外科スタッフとして勤務、名古屋大学腫瘍外科関連施設への異動。各人の希望・都合に応じた対応。

(附記 1) 経験手術症例の最終決定は、手術難易度及び各人の到達の程度により指導担当医が行う。

(附記 2) 外科専門医取得に必要な心臓・血管・呼吸器疾患の症例経験ため、1-2年度のうち約3か月間当院の該当科での研修を受ける。

(附記 3) 上記以外の科についても許可されれば研修を受けることができる。

(附記 4) カリキュラムは、都合により変更することある。

3. 診療科の特徴

診療は、2チーム制をとり、さらに主治医(指導医)・担当医(専攻医または研修医)が決められている。完全主治医制でなく、チーム内の入院患者の診療は、チームの医師のいずれかがこれに当たる。この制度により、業務が効率よく行え、恒常的な束縛から解放され、若手を含め全員が平均的に休日をとれる。曜日ごとにひとつのチームが外来か手術のどちらかに専念することにより、業務にメリハリをつけている。専攻医は上級医の指導のもとに患者の診療を行う。

4. 研修体制

1) 教育病院の指定の有無

日本外科学会外科専門医制度修練施設。日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設。日本大腸肛門病学会専門医制度認定施設。日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設。

2) 研修カリキュラム

日本外科学会「外科専門医修練カリキュラム」に準拠。日本消化器外科学会「消化器外科専門医修練カリキュラム」に準拠。

3) 取得可能な認定医および取得可能な時期

日本外科学会専門医。研修1年目に外科学会に入会したうえで、初期臨床研修2年に外科専攻医2年の併せて4年間の研修を修了すれば申請資格が得られる。

4) スタッフ体制

部長4名、副部長2名、常勤医5名、専攻医5名(2010年4月時点)

5) 症例検討会、抄読会等のスケジュール

(1) 症例検討会：

毎週1回水曜日 15時～18時

(2) 抄読会：

毎週1回金曜日 8時15分～9時

(3) 合同カンファランス(消化器内科)：毎週1回水曜日 7時45分～8時30分

(4) その他：

各チームにおける病棟カンファランス 毎日

6) 主な参加学会

日本外科学会。日本消化器外科学会。日本臨床外科学会。日本大腸肛門病学会。日本乳癌学会。

日本肝胆膵外科学会。日本腹部救急医学会。東海外科学会。愛知臨床外科学会。

7) 定期的に参加する研究会等

- (1) 東三河外科治療懇談会 年2回
- (2) 東三河消化器癌治療セミナー 年1回
- (3) 東三医学会 年1回
- (4) 東海乳腺研究会 年2回

5. 主な経験目標

1) 診察法・検査・手技

(1) 診察法

腹部救急疾患を含めた腹部疾患患者の理学的所見を取ることができ、診断や検査の必要性に結びつく診察方法を習得する。肛門直腸診を行うことができ、その所見をとらえられる。診察にて、消化器内科など他科との連携の必要性の有無が判断できる。

(2) 検査法

消化管造影検査やドレーン造影など、一般外科で扱う疾患や周術期管理で必要な検査の手技を習得し、その所見を判断ができる。

(3) 基本的手技

皮膚縫合術、創処置、全身麻酔の導入・管理、ほか。

(4) 基本的治療法

研修スケジュールに示した目安で外科的手技を習得する。術後の化学療法(抗がん剤、抗生剤など)について習得もしくは知識として得る。

2) 経験すべき症状・病態・疾患

(1) 症状

腹部消化器症状、腹膜炎症状、肛門症状、乳腺腫瘍、ほか

(2) 病態

腹部救急疾患(腹膜炎、消化管出血など)、腹部・乳腺腫瘍、ほか

(3) 疾患

地域医療に必要なあらゆる外科的疾患(消化器、乳腺の悪性腫瘍、急性虫垂炎や胆石、ヘルニア、痔疾患、腸閉塞のような日常的疾患、外傷、など)

3) 研究会・学会発表・論文発表

- (1) 研究会発表 以下の研究会等のいずれかに1回以上の発表を行う。

東三医学会

- (2) 学会発表 以下の学会のいずれかに3回以上の発表を行う。

日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本大腸肛門病学会、日本乳癌学会。日本肝胆膵外科学会、日本腹部救急医学会、東海外科学会、愛知臨床外科学会。

- (3) 論文発表 以下の学会誌のいずれかに1編以上の掲載を行う。

消化器外科、乳腺外科、肛門外科に関する学会およびそれに準じた雑誌